



足立入谷小だより

令和元年6月3日

足立区立足立入谷小学校

校長 添野 誠

気力と健康

校長 添野 誠



振替休日を終えて、子どもたちが元気に登校してきました。運動会疲れが若干見えるものの、皆晴れ晴れとした表情をしており、私たちも心が温かくなる思いです。

先日の運動会では、朝早くからのご参観ありがとうございました。33℃というプールに入りたくするような陽気の中、応援して頂いた保護者や地域の方々もお疲れになったことと思います。お陰様で子どもたちは看護を要するような熱中症にかかることなく、一日元気に過ごすことができました。とはいえ、少しでも暑い思いをさせないように、一部プログラムを削除したり進行を早めたりして運営を操作した結果、皆様の参観計画に誤差を生じさせてしまったかもしれません。この場をお借りしてお詫びすると共に、暑さ対策の一環としてご理解いただければ幸いです。

それにしても、子どもたちは当日のみならず、練習段階からかなり元気でした。具合が悪くなって保健室で養護した子はほとんどいません。一般的に、運動会前になると給食を残しがちになる傾向があります。疲れて食欲が減退するのですが、本校の子たちにとってはまったく該当せずよく食べていました。私は、なぜこの子たちはこんなに健康的に過ごせたのだろうかと、いろいろ思いを巡らせました。

そこで、何もこの子たちが特別な体質をしているという訳はないでしょうから、どこかに科学的な根拠があるのだろうとあれこれ調べてみました。そうしたらありました。それは「免疫力」でした。

病気を予防する免疫効果は、細菌やウイルス（抗原）に抗体反応として発揮されますが、その力は「心の状態」によっても上下することです。つまり気力が充実して、目標を掲げてその達成に向かって元気に歩む人は免疫力が高く、健康的ということ。そうした人は、よく食べ、よく笑い、よく考え、よく寝られるので生き生きしています。ご年配の中にも、若々しい方がいらっしやいますよね。うらやましくなる方々です。

そこから考えると、足立入谷小の子たちは、運動会に向けて本気で取り組み、練習に励んで自分を高められたのでしょう。応援団をはじめ、全校でがんばることを楽しんだのでしょう。だから、運動会当日は最高潮の状態であり、体調も良かったのでしょう。

何とすてきなことか。小まめな給水も奏功でしたが、子どもたちの気力があの暑さに負けなかったのです。さらに、大成功を収めたので、自己肯定感も高まったはず。ここで、その良い流れを止めてはもったいないです。5・6年生は、日光や鋸南という大きな目標や楽しみを大切にしてほしいです。1～4年生はどんな目標を掲げるでしょうか。担任の先生と一緒に、次なる目標を見つけ、それを好きになり、とことん取り組んでほしいです。夏休みの自由研究を考え始めるのもいいかもしれません。子どもたちが、ますます健康であるように、共に歩んで参ります。

6月の主な行事予定

日	曜	行 事	スマ	16	日		
1	土			17	月	全校朝会 鋸南自然教室始(5) 水泳指導始	○
2	日			18	火		S ○
3	月	全校朝会	○	19	水	B 鋸南自然教室終(5) クラブ	○
4	火	OP 朝ごはん(2) 水道キャラバン(4) そら豆むき(2)	S ○	20	木	児童集会	○
5	水	B 日光自然教室始(6) クラブ	○	21	金	体力調査(全)	S ○
6	木	給食試食会	S ○	22	土	土曜授業 演劇鑑賞教室	○
7	金	日光自然教室終(6)	○	23	日		
8	土			24	月	全校朝会 もりもり給食ウィーク	○
9	日			25	火	OP 朝ごはん(4) 自転車教室(3)	S ○
10	月	全校朝会 学校公開週・ふわふわ旬開始 安全点検	○	26	水	B 研究授業(1)	○
11	火	ヤゴ採り(123) OP	S ○	27	木	音楽朝会	○
12	水	B4 水泳・自然教室事前健康相談	○	28	金	トウモロコシむき(3) 避難訓練	S ○
13	木	児童集会 ごみゼロ運動(34) 歯チェック(1)	○	29	土		
14	金	学校公開週終 仲良し班活動 学校説明会 15:00～	S ○	30	日		
15	土						

※()の中の数字や文字は対象学年を示します。×はスマイル未開催日 Sはスクールカウンセラー配置日 OPはオリビエツクタイム実施日

第19回運動会

体育主任 村上 啓太



今年の運動会のスローガンは、「足立入谷の心をつなぎ 熱い旋風を巻き起こせ!」でした。子供たちにとって足立入谷の心をつなぐとは、一体どのようなものだったのでしょうか?競技を一生懸命やることで伝統と仲間同士の心をつなぎ、バトンで思いをつなぎ、自分たちの熱い気持ちを応援でつなぐ。勝負にこだわるだけでなく、友達との協力やあきらめないことを大切にしたい素晴らしい運動会にしてくれました。

運動会は、体育科学習の一環です。例えばかけっこや短距離走では、授業で学んだことをもとに、低学年は走る楽しさを味わいながら、中高学年は速く走る方法を考えながら、一人一人がゴールまで全力で走りきることができました。表現では、自分がイメージした動きを体で自由に表したり、友達の動きをまねたりしていたと思います。全員で動きを合わせることも、とても難しく大変な事です。子供たちは踊りの練習に取り組む中でもたくさん自分で考える学習ができていました。今後もたくさん楽しく運動し、たくさん考えられる指導を行ってまいります。

当日は、競技や応援、係活動にと大忙しだった子供たち。それにも関わらず、子供たちは一つ一つの競技に全力で取り組んでいました。やはり子供たちにとって、自分の成長を見てもらえる運動会は、かけがえのないものであり、ご来校の皆様の応援がパワーになっているのだと感じました。たくさんのご声援とご協力をいただきありがとうございました。

応援団の活躍

応援団担当 三村 哲也



5月中旬からはほぼ毎朝、応援団の練習を行ってきました。4、5、6年生のみが応援団員ですので、団員の人数が少ない応援団でした。しかし、団長の江川さん、藤澤さんを筆頭に応援団全員で、人数以上に盛り上げられる応援にしたいと真剣に練習してきました。おかげで、当日は人数の少なさを感ぜない気持ちのこもった応援ができました。全校での応援合戦も、暑さに負けずとても気合いが入っていました。児童が本気になるとうすごいパワーが出ます。人数の少ない小さな学校でも、本気の児童が多い本校らしいものすごいパワーをお見せできたのではないのでしょうか。

ブラインドサッカー

6年担当 宮下 千広

子供達の大奮闘が光った運動会から間もない、5月29日。5・6年生が、ブラインドサッカーを体験しました。ブラインドサッカーとは、ゴールキーパー以外は視覚障害者が選手としてプレイする、5人制サッカーのことです。フィールドプレイヤーは全員アイマスクをするため、声や音を使ってのコミュニケーションが必要不可欠。当日は実際に選手が来て、コミュニケーションを取りながらの、ドリブルやシュートを見せてくれました。

ブラインドサッカーを体験し、子供達は以下のようにふり返っていました。

- ブラインドサッカーはおもしろく、頭を使うゲームだなと思った。
- 物の見え方は人それぞれだから、みんながみんな同じではないと思った。
- 相手のことを考え工夫してコミュニケーションを取ることで、相手とより深くつながることができると思った。

戦略を立てる大切さやおもしろさ、相手を思いやったコミュニケーションの必要性やボランティアマインドなど、様々な学びを得ることができた5・6年生。2020東京パラリンピック(ブラインドサッカーは、「5人制サッカー」という競技名で実施されるそうです。)も待ち遠しくなる、素晴らしい体験をした1日でした。

